

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤崎 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- ・「運動が好き」や「体育の授業が楽しい」と85%以上の児童が回答しており、「運動は大切」と考える児童は97%であった。
- ・「できないことができるようになったきっかけ」については、「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」、「授業中自分で工夫した」、「先生や友達のまねをしてみた」、「友達に教えてもらった」、「授業中自分の動きを動画で見た」等の回答が多く、課題意識をもって学習に取り組んでいたことが分かった。
- ・「目標を立てて運動している」と答えた児童は、男女ともに全国平均を上回っていた。
- ・「運動やスポーツの時間」の項目では、1週間の総運動時間は男女ともに全国平均を100分以上上回っていた。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育主任や体育専科教員の指導・助言の基、「めあて」、「まとめ」や「話し合い活動」に重きを置いた学習を継続して行うことができた。また、ICT機器を活用した授業を行い、「運動の質」、「運動の量」に関して也十分確保した学習を行っている。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・全国体力・運動能力調査の課題や、体力向上に関する取組を保護者に周知していくこと。
- ・運動場で体を動かしている児童数を毎月集計し、各学級に掲示して、運動の啓発に取り組んでいる。